

無石綿



# NSハイフレックス HF-1000

吸水調整材・セメント混和用ポリマーディスペーション  
公共建築協会評価名簿登録品・JIS A 6203 規格適合品



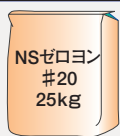


## 標準仕様

### ■吸水調整材として

荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗布量	標準施工面積
18kg/缶	内・外壁、 内・外床	コンクリート、モルタル、 PC板、ブロック、 ALCパネル	ポリマーセメント モルタル、 下地調整塗材、 タイル張付材	 +  1 : 4	コンクリート、モルタル、 PC板の壁* : 150g/m <sup>2</sup>	600m <sup>2</sup>
					コンクリート、モルタル、 PC板の床* : 200g/m <sup>2</sup>	450m <sup>2</sup>
					ブロック、ALC板 : 400g/m <sup>2</sup> (2回塗り)	225m <sup>2</sup>

注) \*現場調合モルタルにNSハイフレックスHF-1000を混入しないで施工する場合は、3倍希釈液(HF-1000 : 清水=1 : 2)を塗布してください。

### ■モルタル混和材として

用途	標準調合	塗厚	標準施工面積
既調合モルタル (例 NSゼロヨン #20)	 +  + 		各種既調合モルタルへのNSハイフレックスHF-1000の混入量は、製品によって異なりますので、該当製品の袋の裏書きもしくは、カタログをご参照ください。

### ■国土交通省監修公共建築工事標準仕様書に記載されているポリマーセメントモルタルの調合

NSハイフレックスHF-1000をセメント質量の5%\*(全固形分換算)以上混入してください。

モルタルの調合および塗厚は、同仕様書をご参照ください。

注)\*例：セメント1袋(25kg)に対するNSハイフレックスHF-1000の混入量

$$\begin{array}{c} \text{セメント} \\ 25\text{kg} \end{array} \times 5\% \quad \div \quad 45\% \quad = \quad \begin{array}{c} \text{HF-1000} \\ 2.8\text{kg} \end{array}$$

(混入割合) (HF-1000の全固形分量) (HF-1000の混入量)

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

## 性状

主成分	エチレン酢酸ビニル共重合体エマルジョン	粘度	1,000±200mPa・s
外観	乳白色液体	密度	1.04±0.1g/cm <sup>3</sup>
固形分	45±1%	最低造膜温度	0℃
pH	6±1	凍結安定性	-10℃ (5サイクル合格)

## 性能

### 吸水調整材

(公共建築協会の吸水調整材(Bタイプ)に定められた試験方法による試験結果)

試験項目	試験結果	性能基準
吸水性 [吸水量(g)]	0.1	30分間で1g以下であること
接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )	標準状態	1以上
	熱冷繰返し抵抗性	1以上
	凍結融解抵抗性	1以上
	熱アルカリ溶液抵抗性	1以上
	外観および界面破断	いずれも著しいひび割れおよび剥離がなく、界面破断が50%以下

(財)ベターリビング

### セメント混和用ポリマーディスペーション

(JIS A 6203 : 2000による試験結果)

試験項目	試験結果	品質基準
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	12.0	8.0以上
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	47.0	24.0以上
接着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	2.4	1.0以上
吸水率 (%)	2.0	10.0以下
透水量 (g)	1.1	15以下
長さ変化率 (%)	0.049	0~0.150

(財)ベターリビング

## 施工法(吸水調整材)

### 下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

\*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

### 吸水調整材の塗布

乾燥後、NSハイフレックスHF-1000の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

\*現場調合モルタルにNSハイフレックスHF-1000を混入しないで施工する場合は、3倍希釈液を塗布してください。

\*NSハイフレックスHF-1000が乾燥してから、次工程の作業をおこなってください。塗布後乾燥までの時間は、夏季1~2時間程度、冬季3~5時間程度が目安です。

\*凍結のおそれがありますので、下地表面の温度が0℃未満の場合には、施工を避けてください。塗布後、透明な皮膜を形成せず、乾燥後も白っぽい皮膜を形成した場合は、必ず削り取ってください。

\*吸水の激しい下地の場合、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守してむらなく丁寧に塗布してください。

\*接着強さ低下の原因となりますので、外装タイル張り用有機系接着剤やエポキシ樹脂系接着剤等でタイル張りをおこなう場合の下地への塗布は避けてください。また、石材等を張る場合の裏面処理には、使用しないでください。

### 養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

\*乾燥後、埃等が付着すると接着力を阻害しますので、なるべく早い時期に次工程の作業をおこなってください。

## 施工法(モルタル混和材)

各種既調合モルタルの調合は、製品によって異なりますので、ご使用になる製品の袋の裏書きもしくは、カタログをご参照ください。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0304001
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>



### 使用上の注意

- サッシ等に付着した場合は、すぐに濡れ雑巾等で拭き取ってください。
- 気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。
- 希釈及び練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、6ヶ月以内を目安に使用してください。



製品問合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。